

## 津波から命を守る 2



### 率先避難のすすめ



#### 1 最優先で自分の命を守ろう

津波の恐れがあるときには、いかに早く高台に逃げるかが命を守る鍵。

「津波てんでんこ」という言葉がある。「てんでんこ」とは「各自」「めいめい」という意味で、『少しでも早く一人ひとり高台に逃げて、自分の命を守れ』という教えである。

過去の津波の際に、家族や知人を助けに行ったことで避難が遅れてしまい、多くの犠牲者を出してしまった教訓から、この率先避難の教えが生まれた。

#### 2 まわりの人に避難を呼びかけながら避難しよう

声を掛け合いながら避難することで、地域全体の人たちの迅速な避難につながる。その土地に不慣れな来訪者なども誘導することができるし、自力避難が困難な人も、声を聞きつけて助けを求めやすくするなどの利点もある。

#### 3 それぞれがお互いを信頼し 自分の避難に責任を持とう



自分の避難に責任を持つことが何より大切。

地域の全員がそれぞれに命を守る行動をすることが常に約束されていれば、お互いを信じてみんながそれぞれに避難できる。避難する際に貼り紙で「避難済み」であることを知らせることも、地域全体の避難をスムーズにする知恵だ。お年寄りや幼い子どもを家に残して外出しているときでも、近所の人たちが避難を手伝ってくれるという信頼関係があれば、地域全体の避難を早めることができる。

#### 4 逃げてよかったんだと認めあおう



自然災害では、命の危機に直面し、目の前の人を助けられなかったということが起こりえる。

自責の念を地域みんなで軽減できるよう、「逃げてよかったんだ」と認めあうことも大切。

